

## 第5回太宰府市議会意見交換会（建設経済常任委員会）

1. 開催日時 平成30年11月18日（日）16:00～18:00
2. 開催場所 太宰府市総合体育館「とびうめアリーナ会議室」
3. 出席議員 宮原伸一委員長 上疆副委員長 橋本健委員 村山弘行委員 入江寿委員  
堺剛委員
4. 参加人員 46名
5. 経過

入江委員の司会にて開会する。司会より個人への中傷・誹謗、また混乱するような場合は、退場また会の中止もあります、更に会議の内容を議会だよりに掲載のため、録音及び写真撮影の了解を得ることを説明しました。（会場参加者より異議なし）

冒頭、宮原委員長より挨拶を行い、建設経済常任委員会の所管の説明があり、出席委員の紹介が行われました。

堺委員によるパワーポイントによる説明は、6月議会及び9月議会の主要な議会報告、更に9月議会での「決算特別委員会」の報告がありました。  
これを受け、第1部の質疑応答に移りました。

### 第1部（平成29年度決算報告説明）における主な質問と回答

質問：市民との意見交換会は、市民に議会のことを説明し、市民の意見を聞く場であるのに「ガス抜き」と発言しているが、その真意を聞きたい。

回答：失言で申し訳ないと思います。みなさまのご意見は今後真摯に受け止めてまいります。

質問：決算における経常収支比率が90%以上になっている。5年振りに一般会計が黒字になったが、できる限りこのポイントを下げる具体的対策はあるのか。

回答：大きな企業もなく、法人税も少ない。収入を増やすような努力が必要と考える。

質問：支出を抑え、収入を上げる努力が必要と思う。「歴史と文化の環境税」も長年同額できている。これを値上げして、伸ばす必要がある。

回答：できるだけ収入を増やしたいと思っています。支出を抑えるために、民間委託と指定管理者の見直しも考える必要もあります。

中・長期的な見方で観光客の税収増も計る必要がある。宿泊施設も必要で、泊まってもらい史跡地巡りなどもできるようにしなければとも考えます。

質問：母が92歳になる。今回「マミーズまほろば号」が運行しなくなった場合、まほろば号は道路が狭く通れないので、今後どう対応するか伺いたい。

回答：我々もたいへん心配しています。行政にも意見を訴えていきたい。所管外ではあるが、コミュニティバスは総合交通政策のなかで対応すべきである。高齢者対策や道路についても見直すように行政側に言っているので、議会も十分対応していきたい。

要望：病気もあり、命にかかわることなのでよろしくお願ひしたい。

意見：意見交換会を「ガス抜き」と言うし、質問に答えない、質問をさせない、隠す、これはおかしい。今回、決算のことは朝から3回聞いた。進め方がおかしい。

意見：今の意見は前に出た同じ意見ばかりである。他の場所で言ってくれ。「道路の安全問題」でいっぱい言いたいことがあるので進めてもらいたい。

質問：西鉄太宰府駅の改築について伺うが、私は西鉄の取締役とも話したが、すでに図面もできている。そのことは知っているのか。太宰府駅前には駐車場もない。西鉄に向いて問い合わせるべきではないのか。

回答：話は知らない。話がどの程度なのかも聞いていない。今後、市に問い合わせ、その後対策を考えたい。

質問：介護保険会計に対する一般会計からの繰り入れがあると思うが、どの程度なのか。高齢者負担金、介護負担金等のもの。

回答：大変申し訳ありませんが、手元に資料を持参していないので、後日回答したい。(了解との回答)

## 第2部（テーマ：市内道路の安全対策）における主な質問と回答

質問：仕事に行くとき、水城駅を通過して行くが、途中狭くなっている。(水城・口無線)全体の工事完了はいつ頃なのか、また市内道路の補修や整備の計画はどうなっているのか。

回答：水城・口無線は平成13年度より三期工事として行われてきた。現在、三期目であるが、今年度の国庫補助金が予定していた金額より低かったために、今年度は困難と判断されたようであり、来年度、再度国に対し補助金の申請がなされると思う。市長にも強く国等に働きかけてもらうように要望する。また、豪雨災害の復旧については、随時行われ、復旧が終わったため、未完了の所もあるが11月から12月にかけて工事を行い、年度内には完了すると聞いている。

質問：経常収支比率が高い。10年くらい前に夕張市が倒産した時に太宰府も危ないという噂があったが、経常収支比率が上がった原因はどこにあると思うか。

回答：90%を超えていることは財政の硬直化であるが、考えられるのは、医療、介護等の民生費のアップがあると思う。経費は上がるという前提で対処しなければならない。すぐに良くなるという特効薬的なものはないのではないか。

意見：太宰府に住んで20年くらいになるが、市政が全く良くなったと感じていない。春日市、大野城市、筑紫野市は、どんどん良くなっている。無駄な金を使っていると思えない。必要などころには使っていない。議会は、行政のチェック機関であるが機能していないのではないか。不信任を突きつけたい気持ちである。

質問：県道の渋滞緩和と工事の進捗状況について

回答：学業院中学校側より、既に241mは完了していますが、残りの工事については、平成32年度以降になると聞き及んでいる。筑紫野・古賀線については、すでに土地買収は2年前に終わっているのので、早晚工事に着手されると思います。

質問：地域交通政策について、前市長に要望書を提出していると思うが、楠田市長には出しているのか。

回答：楠田市長には、出していない。前市長に提出したものを継承されていると考えている。

交通政策は、時間のかかるものもある。急がなければならないものは急ぐようにしたい。建設経済常任委員会としても市側に回答を求められるようにしたい。

意見：マミーズ店が閉店になれば、マミーズまほろば号もなくなる。まほろば号には1億5千万投入しているが、増便し、まほろば号への投入の財政の確保は何かあるのか。

質問：本市は、財政事情がよくない。経常収支比率も90%台と高い。他市はもっと低い。議長は、行政改革を進めると言うが、具体的な方策を示してもらいたい。道路の改修が遅れているのも財政事情が悪いからではないのか。

回答：貴重なご意見は活かしていきたいと思います。また、県にも働きかけて行くと同時に市長にも働きかけていきたいと思います。

要望：財政事情打開のために粕屋郡内の町は、総務省に出向き、増額の要請をしたりしている。伊藤元市長もそのようにしてきたと聞いている。

楠田市長も総務省などに出向き、働きかけるべきではないか。

質問：水道管の耐震化工事が遅れていると聞くが、今後どう進められていくのか。

回答：遅れていると言われているが、実質はそんなに遅れていない。漏水等もあると言われている。年次計画をたてて実行していただくよう再度協議していきたい。

質問：行政運営について、優先順位をつけるべきである。計画性がない、工夫がない。道路と違っていたら、保育園所有のものであった等、驚いた。無計画である。行政も工夫をし、必要なものに金を使うべきである。議会は市民の方を向いてほしい。

回答：今後の活動に活かしていくようにいたします。

質問：職員の姿勢が良くない。市民の声を真摯に受け止めていない。指導すべきではないか。

回答：我々も努力していきたい。

質問：観光経済について、クルーズ船が寄港すると外国人観光客が増加する。また、今国会で議論されている外国人労働者の問題にどう対処するのか。生活や人権をどうするのか。市の職員も含め襟を正して向かい合ってほしい。市民に向かって唾をはかないという姿勢を貫いてほしい。

回答：市側にもインバウンド等、今後も勉強していくようにしていきたい。

質問：竈門神社に観光客が増えている。ライトアップもしているが、道路整備が充分でなく迷う人もいる。戦略的な観光行政が、求められている。かつて近くに「割烹」があったが、その後にホテルは建てられないか。

回答：調整地域でなければ、ホテルの建設は可能と思う。しかし、ホテル建設に賛成の人もいれば、反対の人もいる。

質問：大阪でブロック塀が崩壊し、死亡事故が起きたが本市の安全対策は、どうなっているのか。

回答：市としては、大阪の事故以来すでに職員による調査を行い、公共施設では特段ないということである。朱雀の納骨堂の一部を修理した。私的な場所は、若干あると思う。